



Hotel Okura

PRESS RELEASE

2025年1月7日
株式会社ホテルオークラ

～タイで7つのホテルを展開～
『オークラリゾート チェンマイ』(仮称)
『オークラ プレステージスクンビット バンコク ホテル&スパ』(仮称)
2028年に開業

株式会社ホテルオークラ(本社:東京都港区、代表取締役社長:荻田 敏宏)は、Asset World Corporation(本社:タイ王国バンコク、社長兼CEO:Wallapa Traisorat、以下AWC)と、タイ北部の古都チェンマイに展開予定の『オークラリゾート チェンマイ』(仮称/2028年開業)および、バンコク・トンロー地区に展開予定の『オークラ プレステージスクンビット バンコク ホテル&スパ』(仮称/2028年開業)に関する運営管理契約を2024年12月19日(木)に締結しました。

本契約の締結により、2028年にはタイ国内の主要観光都市に7つのホテルを運営することとなり、400室以上がオークラ ニッコー ホテルズの運営施設として新たに加わります。



(中央左)Asset World Corporation 社長兼 CEO Mrs. Wallapa Traisorat

(中央右)株式会社ホテルオークラ 代表取締役社長 荻田 敏宏

バンコクの手続き統合ライフスタイル不動産グループであるAWCは、タイにおいて複数の開発プロジェクトを推進しており、ホテルオークラは、2012年に開業した「オークラ プレステージバンコク」を契機に長年にわたる信頼関係を築いてまいりました。直近では、2024年12月20日(金)に就航したチャオプラヤー川のディナークルーズ船『オークラクルーズ』も同社との共同事業として展開しています。

今回の新たな開発計画では、タイ第二の都市として発展を続けるチェンマイに、オークラブランドとして北部初進出となる『オークラリゾート チェンマイ』を、また、外国人駐在員などが多く居住するバンコク・トンロー地区には、日本式のウェルネスと長期滞在型のサービスを提供する『オークラ プレステージスクンビット バンコク ホテル&スパ』をオープン予定です。どちらも日本ならではのおもてなしと地域の文化的な豊かさが融合した体験を提供し、ラグジュアリーかつ持続可能なホテルづくりを目指します。また、近年の旅行業界における健康志向の高まりを受け、ウェルネス分野も追及してまいります。

■ 北タイ初のオークラブランドのホテル『オークラリゾート チェンマイ』

ホテルは、市内で最も賑やかな場所の一つとして知られるチャンクラン通り沿いに開業を予定しています。周辺にはナイトマーケットのほか、地元料理が味わえるレストランなどが集中しており、夜遅くまで観光客で賑わうエリアです。

客室面積は約40～60㎡、200室以上の客室規模を予定しております。昼や露天風呂など和の要素を取り入れた客室に加え、古都チェンマイで栄えたラーンナー王朝^{*1}時代の伝統を受け継ぐラーンナー文化を感じられるデザインも採用します。その他、地元食材を日本料理の繊細な技術で仕上げた会席料理を提供する日本料理レストラン、オールデイダイニング、カフェ、ルーフトップバーなどの料飲施設を備え、滞在を通して、北タイと日本の伝統が融合したひとときをお楽しみいただけます。

^{*1} 13世紀後半から18世紀にかけて、タイ北部のチェンマイを中心に栄えた王朝。

■ シティホテルにウェルネスを融合した『オークラ プレステージスクンビット バンコク ホテル&スパ』

ホテルは、バンコクの活気あふれる人気エリアであるトンロー地区に開業を予定しています。ウェルネスをテーマとしたホテルでは、長期滞在に対応したサービスも提供します。日本の伝統的な習慣や健康法と、現代のウェルネストレンドを融合させた独自のウェルネスプログラムの導入を予定しており、滞在を通して心身ともにリフレッシュするひとときを提供します。

標準客室面積は約45㎡、200室以上の客室規模を予定しており、和風のスイートルームに加え、洋室もご用意します。また、高層階に配置された日本様式のスカイロビーやルーフトップバーからはバンコクのスカイラインが望め、屋外プールのカバナでは、ヘルシーでバランスの取れた料理を楽しむことができます。

今回契約を締結した二つのホテルは、AWCと2024年5月に合意したタイにおける事業拡大を目指す「包括的提携」の一環です。『オークラリゾート チェンマイ』と『オークラ プレステージスクンビット バンコク ホテル&スパ』の開業が予定される2028年には、オークラ ニッコー ホテルズとしてタイ国内に7つのホテル、約2,000室を展開することを見込んでおります。

ホテルオークラは、AWCとの長期的なパートナーシップのもと、ホスピタリティ精神にあふれるタイの地で、日本のおもてなしの心に根差したオークラならではのホテル運営を行うことにより、地元からも支持され、また、タイの観光産業のさらなる発展にも貢献できるホテル展開を図ってまいります。

『オークラリゾート チェンマイ』(仮称)施設概要

客室数： 約220室

レストラン： 日本料理、オールデイダイニング、カフェ、ラウンジ、ルーフトップバー ほか

付帯施設： フィットネス、スパ、屋外プール ほか

宴会場・会議室： 8室

アクセス： チェンマイ国際空港から車で約15分

『オークラ プレステージスクンビット バンコク ホテル&スパ』(仮称)施設概要

客室数： 約240室

レストラン： 日本料理、オールデイダイニング、バー ほか

付帯施設： フィットネス、スパ、屋外プール ほか

宴会場・会議室： 3室

アクセス： スワンナプーム国際空港から車で約40分

<Asset World Corporation 会社概要>

Asset World Corporation (AWC)は、タイの大手財閥TCCグループ傘下のタイを代表する統合ライフスタイル不動産グループです。ホスピタリティ、商業スペース、そして象徴的なライフスタイル施設の開発を通じて、タイの景観に新たな価値を生み出しています。AWCは、タイ国内の主要エリアに多彩な施設を展開し、業界の新たな基準を打ち立てるとともに、タイを世界的な持続可能な観光地としての地位をさらに高めるランドマークプロジェクトの創出に取り組んでいます。

「マリオット・インターナショナル」「IHGホテルズ&リゾーツ」「ノブ・ホスピタリティ」「オークラ ホテルズ & リゾーツ」「バンヤンツリー」「メリア ホテルズ インターナショナル」「ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ」「アコーホテルズ」「ハイアット ホテルズ アンド リゾーツ」などの世界的に有名なホテルブランドと協力することにより、ほかにはない体験を提供しています。また、AWCのポートフォリオには、「The Empire」「Athenee Tower」「Asiatique the Riverfront Destination」「Phenix」といった商業施設のほか、「The Empire」にある屋上レストラン『EA』のように、世界最高峰の料理を提供するF&Bディステーションが含まれています。

AWCは、事業全体で持続可能性を重視し、「Better Planet (より良い地球)」「Better People (より良い人々)」「Better Prosperity (より良い繁栄)」という3つの柱を基に、すべてのステークホルダーに長期的な価値を提供することを目指しています。革新的で責任ある取り組みを通じて、多くの人々に影響を与えながら、タイの観光業と不動産業をさらに発展させてまいります。

公式サイト：<https://www.assetworldcorp-th.com/en/home>

<株式会社ホテルオークラ 会社概要>

株式会社ホテルオークラは1958年に設立、1962年にフラッグシップホテルである『ホテルオークラ東京』を開業しました。資本金30億円、「Best A.C.S.」(A: Accommodation, C: Cuisine, S: Service = 最高の施設、最高の料理、最高のサービス)を掲げ、現在では、ホテル事業及びホテル関連事業会社の所有・管理、ホテル事業(開発・運営)に関するコンサルティングなど、幅広く事業展開しています。

当社は、日本国内だけではなく海外の国々と質の高いグローバル・ネットワークを築いてきました。日本文化のきめ細かな心くばりとヨーロッパやアメリカの機能性を融合させた「オークラ」のおもてなしは、世界中の皆様にくつろぎと快適な空間と時間を提供いたします。

現在、オークラ ホテルズ & リゾーツとして、オークラ ヘリテージ、オークラ プレステージ、ホテルオークラの3ブランド、ニッコー・ホテルズ・インターナショナルとして、グランドニッコー、ホテルニッコー、ニッコ

ースタイルの3ブランド、これにホテルJALシティを加えた7ブランドを展開しており、子会社である株式会社オークラ ニッコー ホテルマネジメントにより、国内 54、海外 27 の合計 81 ホテル、総客室数 24,088 室を運営しています。

また、1962年に開業したホテルオークラ東京 本館を建替え、新たなフラッグシップホテル『The Okura Tokyo』を2019年9月に開業しました。 (2025年1月1日現在)

本件リリースに関するお問い合わせ先	
株式会社ホテルオークラ	広報担当 荒井 / 鈴木
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-6-2 第2 秋山ビル 2 階	
TEL:03-4400-0631 FAX:03-6700-1791 E-mail: pr@hotelokura.co.jp	